

# WEL・NET

## 通信

- 特集1 NIRS ニューロリハシステム治験
- 特集2 季節を味わう行事食
- 地域リハビリ研修会・朋和会ニュース など

2021.11

発行日 令和3年 11月 10日  
発行 西広島リハビリテーション病院  
事業局  
☎ 082-921-3230 (代表)  
URL <http://www.welnet.jp/>  
E-mail [wel@welnet.jp](mailto:wel@welnet.jp)

WELNET 通信は、西広島リハビリテーション病院の地域リハビリ・地域連携に関わる活動をご紹介する広報誌です



特集

ニルス

# NIRS

## ニューロリハシステム 医師主導治験 始動



医療法人社団朋和会

西広島リハビリテーション病院

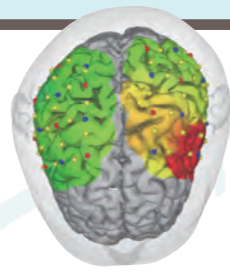


ニルス

# NIRS

## ニューロリハシステム

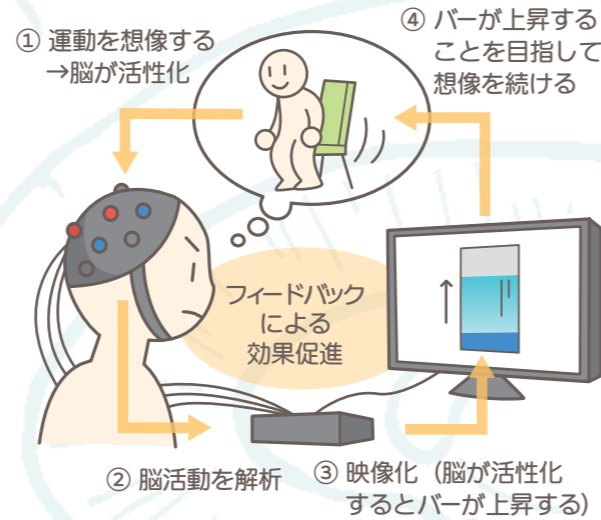
### 医師主導治験 始動



「NIRS ニューロリハシステム」は、川崎医科大学の三原雅史教授を中心とする研究グループにより開発されたシステムです。西広島リハビリテーション病院では2021年1月より、このシステムに関する医師主導の治験を実施しています。

#### NIRS ニューロリハシステムとは

実際の運動を行う代わりに運動の想像を行うことで脳を活性化させ、麻痺の改善を促進するシステムです。患者さんは脳活動測定装置を着けて、運動を想像する訓練を行います。すると、このシステムが脳活動を解析し、測定結果を視覚化して画面に映し出します。その映像をたよりに、より適切な想像を行うようにすることで、さらなる脳活動の活性化を目指すというものです。この方法を通常のリハビリ訓練と併用して行うことで、機能の改善率が向上したことが、事前の臨床試験によって示されています。今回の治験は、このシステムの効果や安全性を検証するために行われています。



#### NIRS ニューロリハシステム イメージ訓練の流れ



立ち上がる人の動画（見本）を見て、イメージの練習をする。

立ち上がる動作をイメージする。

うまくイメージできて脳活動が活性化すると、画面上のバーが上がる。

- ※ 治験に参加していただくための条件があります。患者様によっては治験に参加していただけない場合もございますので、ご了承ください。
- ※ 治験では、「立ち上がる動作」と「歩行する動作」の想像を行います。
- ※ 治験では、NIRS ニューロリハシステムを使用するグループ（介入群）としないグループ（コントロール群）に分かれて行います。コントロール群はNIRS ニューロリハシステムを使用しない代わりに通常リハビリを追加します。

#### 脳卒中後の歩行障害患者に対する NIRS ニューロリハシステムを用いた医師主導治験

この治験は、川崎医科大学の三原雅史教授を中心とする研究グループが主導し、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）医療機器開発推進研究事業の支援を受け、社会医療法人大道会 森之宮病院、大阪大学附属病院、西広島リハビリテーション病院の共同にて行われています。（2021年10月時点）

#### 担当者に聞きました！ Q&A

##### このシステムの特徴は？

藤井：想像によって脳が活性化することはこれまでも言われていたんですが、実際に脳がどのように働いているかまでは分からなかったところを、視覚化して分かるようにしたのが大きな特徴です。

松下：スポーツの世界のイメージトレーニングにも似ていますが、脳の状態を見ながら訓練できるというのは、今までにないものですね。

##### 実施された皆さんの感想は？

藤井：患者さんは、うまくいっているのかどうか、正直感覚的にはよく分からないと（笑）。でも画面に出るので、「うまくいってる？」って、良い反応を返してくれる方もいらっしゃいます。

松下：例えば歩行であれば、スツツと歩くよりも、ゆっくり大きく足を上げて歩くようなイメージをした方がいいとか、そういう風に声掛けしてくださいとは言われています。

藤井：直接的な効果ではないんですが、治験に参加してから、その方が動いたり歩行したりする機会が増えたって、病棟のスタッフから言われたことがあります。こういう新しいことに取り組むと、モチベーションアップにつながるということはあるかもしれませんね。

##### 想像だけで本当に良くなる？

松下：これだけで良くなるというよりも、その運動に必要な脳の領域を準備のイメージトレーニングでしっかり高めて、その上で運動をすることで、効果が上がるという考え方ですね。通常のリハビリとの合わせ技だと思います。



理学療法士 副主任  
NIRS ニューロリハシステム治験担当  
藤井 琢磨



理学療法士 主任  
松下 信郎

##### 今後期待されることは？

松下：この機械を使ってイメージで脳の活動を高めるのが上手になったら、退院後に家でもまずイメージ訓練から始めて運動の効果を上げるという、新しい自主トレの在り方が確立するかもしれません。それを確認するため、治験に参加していただいた方は退院後の経過も確認させていただいています。

藤井：今まではそのイメージ訓練が、脳の中でうまくいっているかどうか分からなかったのが、分かるようになったというのが大きいですね。

松下：あとは、重度の麻痺などで転倒のリスクがあって訓練が難しい人に対して、まずイメージ訓練で脳の活動を高めて動作をしやすくするというように、新しいリハビリ方法として届けられる可能性があります。

藤井：治験に協力していただいた患者さんからも、イメージ訓練は転ばないからいいね、と言われたことがありますよ。

松下：将来的には、バーチャルリアリティとか、ロボットと組み合わせて脳の活動を計測しながらその人の実際の動きを助けてあげるとか、いろいろなことに広げられそうで期待が持てますね。



#### NIRS（近赤外分光法）

近赤外線の光を利用して、脳や筋肉の血中のヘモグロビンの濃度の変化を測定し、血中の酸素化の状態や脳血流の変化を評価する方法。当院では2014年から、SMART NIRS（近赤外光イメージング装置 / 島津製作所）をリハビリ訓練の効果の検証等に導入しています。





# 行事食 紹介

当院ではお食事を通じて患者さんに季節を感じて頂きたく、行事食を提供しています。今回はその一部を写真でご紹介します。

かげやま のりこ  
管理栄養士・栄養課課長 影山 典子



ひな祭り



桜寿司



七夕



クリスマス

栄養課職員お手製の  
カード付き!



## 当院のお食事について

お食事は全て院内の厨房で調理し、温冷配膳車で適温を保ちながら食堂へ運びます。また、疾病だけでなく食欲の有無など様々な状態によって、患者さんにあったお食事を提供しています。お食事は患者さんにとって入院中の楽しみの一つでもあるので、安全でおいしい食事の提供を心がけています。

会長・院長も同じ  
献立の昼食を検食と  
して食べています。



リハビリサマリーに出てくる用語や専門的な検査・評価の数字を解説!

# リハビリ用語 解説します!

検査・評価の巻



当院は地域リハビリテーション広域支援センターとして、地域の皆様に役立つリハビリの情報をお届けする「地域リハビリ研修会」を開催しています。今年度は地域にお住いの皆様の生活を支えるケアマネジャー・ヘルパーの皆様を対象に、リハビリ用語を解説する研修会を開催します。

## 第1回



11/10 (水)

通算120回 13:30 - 14:00

身体・運動機能 の用語



あしざわ けんた 芦澤 建太 (理学療法士)  
まつし けんた 松四 健太 (理学療法士)

## 第2回



12/8 (水)

通算121回 13:30 - 14:00

精神・高次脳機能 の用語



やまうち あつこ 山内 温子 (言語聴覚士)  
よしだ あきひろ 吉田 明広 (作業療法士)

## 第3回



1/12 (水)

通算122回 13:30 - 14:00

摂食・嚥下機能 の用語



えばら ゆきえ 荻原 幸恵 (言語聴覚士)

## 対象者

ケアマネジャー・ヘルパーの皆さま

## 開催方法

Zoomを使用したオンライン形式  
※ 研修の様子は録画致します。ご了承の上お申し込みをお願い致します。

## 参加費

無料

## 申込方法

上記のQRコードまたは西リハWebサイトのお申し込みフォームからお申し込みください。  
※ 予定の人数を超過した場合、お申し込みをお断りする場合がありますので、ご了承ください。

詳しくはホームページをご覧ください [西リハ 地域リハビリ研修会](#) 検索

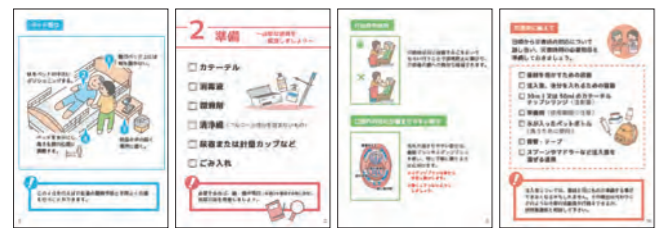


お問合せ窓口：082-921-3230 (代表) kouhou@wlnet.jp 担当：小川



## 2020 10 2020.10～ 介助の手引き 制作

患者さん・ご家族向けに、医療管理や介助の方法を紹介する手引きを制作しています。退院後も安全に続けられるよう、注意点や実践のコツを示しています。



おむつ交換 自己導尿 口腔ケア 胃管・胃ろう (制作中)

## 5 MAY 2021.5.28 ぴよぴよ園のたまねぎ収穫

院内保育所ぴよぴよ園では、季節にあわせた年中行事を開催しています。5月には園児たちが、リハガーデンで育てられた玉ねぎを収穫しました。重たい玉ねぎを運ぶ姿がとても可愛らしかったです。



▲ 大きな玉ねぎを一生懸命収穫してくれました。

## 6 JUN 2021.6.3 家族教室動画を公開

現在感染対策のため中止となっている西リハ家族教室ですが、リーフレットと動画の公開をはじめました。退院後の生活に役立つ情報を発信しています。ホームページの西リハ情報箱にてご覧いただけます。

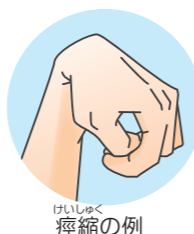


▲ 失語症がある方とコミュニケーションをとる時のポイントを、スタッフによる寸劇でご紹介。

▲ 杖に立ち上がるためのポイントは、何でしょうか? 動画を見比べて確認しましょう。

## 1 JAN 2021.1 ゼオマイン® 使用開始

ボツリヌス療法の新しい製剤として、ゼオマイン® (帝人ファーマ株式会社)の使用を開始しました。回復期時期の患者さんにも実施しています。



けいれい 痙縮の例

### Q ポツリヌス療法とは?

脳卒中後の痙縮などの治療として行われます。筋肉内に薬を注射してつっぱりのある筋肉の緊張を和らげ、その間に集中的にリハビリテーションを行って改善を目指します。

## 6 JUN 2021.6 制服図鑑・花マップ

当法人で働く全職種が分かる「制服図鑑」と、Welnet Rehab Garden に咲く花の一覧を掲載した「花マップ」が完成しました。

▼ 花マップ



▲ 制服図鑑

## 7 JUL 2021.7 花の丘Web作品展

介護老人保健施設 花の丘では、毎年利用者さんの作品を展示する「花の丘作品展」を開催しております。今年はWebでの開催となりました。特設サイトからWebページまたは動画でご覧いただけます。



※ オンライン・オンデマンド・Web 研修など ※ 医師やスタッフの肩書き/氏名は掲載時点のものであり、現在は変更している可能性があります。  
※ DR:医師 PT:理学療法士 OT:作業療法士 ST:言語聴覚士 RM:リハビリマネージャー NS:看護師 CW:介護福祉士 CP:公認心理師 RD:管理栄養士



### 外部講演

- 2021.5.27 痙縮治療実践 Web 講演会  
上肢・下肢痙縮に対するボツリヌス療法の最適化を目指して～下肢注射のポイントを中心に～ 岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 2021.6.11 第 58 回日本リハビリテーション医学会学術集会  
ランチョンセミナー 9  
ボツリヌス治療と多職種連携の実践講演 2  
[回復期リハビリテーション病棟における痙縮のチーム医療] 岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 教育講演 60  
回復期リハビリテーション病棟におけるチーム医療 岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 合同シンポジウム 25  
回復期リハビリテーション病棟の栄養管理  
回復期リハビリテーション病棟における栄養管理の課題 岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 2021.6.27 2021 年度 (第 11 期) 回復期セラピストマネージャー認定コース  
障害者の生活再建と就労支援  
～機能・活動・参加へのアプローチ～ 岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 2021.7.6 GSK Spasticity Web Conference  
上肢・下肢痙縮に対するボツリヌス療法の最適化を目指して～下肢注射のポイントを中心に～ 岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 2021.7.10 2021 年度回復期リハビリテーション協会 管理栄養士研修会  
レクチャー 1 回復期リハビリテーション病棟におけるチームアプローチと疾患管理 岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 2021.8.19 第 26・27 回合同学術大会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会  
パネルディスカッション 3:  
回復期リハビリテーション病棟における摂食嚥下障害患者の対応  
「回復期リハビリテーション病棟における摂食嚥下患者の現状と課題」 岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 「回復期リハビリテーション病棟における経管栄養離脱のアプローチ」 渡邊 光子 (ST・主任)
- 2020.9.29～ 岩国 YMCA 国際医療福祉専門学校 保健看護学科 1 年生  
リハビリテーション学 (2021.9.29 / 10.13 / 10.20 / 10.27)  
大原 混平 (NS) / 坂野 ゆかり (NS・看護師長)
- 2021.10.2 令和 3 年度京都府リハビリテーション教育センター第 17 回座学研修会  
講演 2 生活機能を向上させる! 回復期から始まる退院後のリハビリテーション医療 岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 2021.10.15 2021 年度 (第 11 期) 回復期セラピストマネージャー認定コース  
リハビリテーションと栄養管理 影山 典子 (RD・栄養課長)
- 2021.10.16 痙縮治療 Meet the Expert in 山口  
痙縮のボツリヌス治療 ～何を診てどう打つか～ 岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 2021.10.21 第 3 回日本スティミュレーションセラピー学会 学術大会 in 三重  
特別講演 6 回復期リハビリテーション病棟における Stimulation Therapy の実際 岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 2021.10.23 日本転倒予防学会 第 8 回学術集会  
パネルディスカッション 3 リハビリテーションと転倒予防  
「転倒転落に対する当院の取り組み～システム変更に至った事例紹介と活動性向上の工夫～」 福江 亮 (PT・RM)

### 学会発表

- 2021.6.13 (一社) 広島県言語聴覚士会 第 5 回学術集会  
復職を想定した模擬講義を行い、復職に至った症例 白川 由莉奈 (ST)
- 2021.6.19 第 22 回 日本語聴覚学会 in 愛知  
当院における Wallenberg 症候群の嚥下状態の改善因子の検討 重川 由香 (ST・副主任)
- 構文訓練を行い失文法の軽減につながった症例 村竹 菜摘 (ST)
- 2021.8.19 第 26・27 回合同学術大会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会  
脳卒中嚥下障害患者の経口摂取獲得の予後予測における車いす座位機能について 渡邊 光子 (ST・主任)
- 2021.10.21 第 3 回日本スティミュレーションセラピー学会 学術大会 in 三重  
ボツリヌス療法による大脳皮質活動へ与える影響 玉代 浩章 (OT・主任)
- 回復期入院患者に対する BTX 療法と作業療法の併用療法 漆谷 直樹 (OT・RM)

### 専門雑誌・書籍

- 2021.5.18 The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 58 巻 5 号  
特集回復期リハビリテーション医療 pp.482-489  
一これまでの 20 年、これからの 20 年—  
2 回復期リハビリテーション病棟における多職種連携 岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 2021.7.20 作業療法ジャーナル 2021 年 Vol.55 No.8 (増刊号) pp.999-1003  
脳卒中と地域リハビリテーション 岡 光孝 (OT・地域支援リハマネージャー)
- 2021.9.10 リハビリナース 第 14 巻 5 号 (通巻 95 号) pp.22-26  
「している ADL」の定着に向けた目標とチェックリストの活用法 田中 貴史 (OT・副主任)
- 2021.9.15 作業療法ジャーナル 2021 年 Vol.55 No.10 pp.1130-1135  
特集 回復期リハビリテーションはこれでいいの? 「回復期作業療法における施設外訓練」 漆谷 直樹 (OT・RM) / 大下 琢也 (OT・備田病院) / 岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 2021.9.15 脳血管障害のリハビリテーション医学・医療テキスト pp.256-272  
Ⅷ. 生活期のリハビリテーション医療  
3 訪問リハビリテーション 4 通所リハビリテーション 5 自主訓練 岡本 隆嗣 (DR・病院長)
- 2021.10.1 リハビリナース 2021 年秋季増刊  
回復期リハ病棟の成功する介入 × 失敗する介入  
監修 岡本 隆嗣 (DR・病院長) / 杉本 真理子 (NS・副院長・看護介護部部長)  
pp.110-117 主介護者はだれ? ～チームが主介護者の見極めを誤り、老健に入所となってしまった L さん～ 杉本 真理子 (NS・副院長・看護介護部部長)
- pp.118-125 目標共有できない～歩行訓練の内容に納得できず、早期退院 (入院 15 日) となった M さん～ 永見 茜 (NS・看護師長)
- pp.168-176 退院直前での退院先の変更～妻の自宅退院への強い希望があったにもかかわらず、老健に入所となった S さん～ 森澤 美穂 (MSW)
- 2021.10.15 理学療法ジャーナル Vol.55 No.10  
Close-up 転倒予防に活かすバランス評価  
「施設内での転倒予防に活かすバランス評価」 松下 信郎 (PT・主任)



## チーム紹介!

# 施設管理課 運転手

病院の搬送車・老健の送迎車の  
運転手を担当しています。

心掛けています。

ご利用者さんは、体力  
や体幹バランスが低下  
しているため、運転に  
は特に注意が必要です。  
乗られている皆さんが  
気が付かないほどの  
ゆつくりとした、スー  
ズな加速や停止を常に  
心がけ、一人に優しく  
をモットーに、一番安全  
で安心な送迎車の実践  
を目指しています。

接遇のポイントは何で  
しょうか?

接遇や安全運転の基本  
は「笑顔」と「挨拶」です。  
「凡事徹底」(当たり前の  
ことを徹底してきちん  
とやる、の意味)を実践・  
継続していきます。

私たちの

運転で、ご利用者さん・  
患者さん、ご家族の皆  
さん、また地域の方々  
から安心と信頼を得ら  
れるよう、今後もサー  
ビスの向上に努めてい  
きたいと思えます。



## 医療法人社団朋和会 基本理念

# 信じ合い、明日を拓く

私たちは「信じ合い、明日を拓く」という言葉を基本理念としております。

「信じ合う」という言葉は、患者さんと職員との信頼関係とともに、職員間の信頼関係をも含んでおります。理想的なリハビリテーションは、ひとりの患者さんを中心に全スタッフが取り組むチーム医療が原点です。たしかな信頼関係のもと、全職員が心をひとつにして治療に取り組めばそこには安心感が生まれ、患者さんに、より大きなご満足をいただけるものと信じております。

「明日を拓く」という言葉は、現状に満足することなく未来へ向けて挑戦したいという私たちの願いです。超スピードで進化する医学の流れをしっかりと見定め、フロンティア・スピリッツを胸に、どんな困難にも立ち向かっていきたいという気持ちをこの言葉で表現しました。

「信じ合い、明日を拓く」この言葉をいつも大切に考え、患者さんやご家族の皆さん、受診者の皆さんにご奉仕し、地域社会の発展に寄与していきたいと心より願っております。

医療法人社団 朋和会  
初代理事長 岡本則昭

## 医療法人社団朋和会 西広島リハビリテーション病院

〒731-5143 広島市佐伯区三宅6丁目265番地  
TEL (082) 921-3230 (代表)  
FAX (082) 921-3237 E-mail wel@welnet.jp  
URL <http://www.welnet.jp/>

★ 理事長・病院長：岡本 隆嗣



★ 広島中心部より車で約30分 ★ 広電楽々園駅より車で約10分  
★ JR五日市駅南口よりバスで15分

